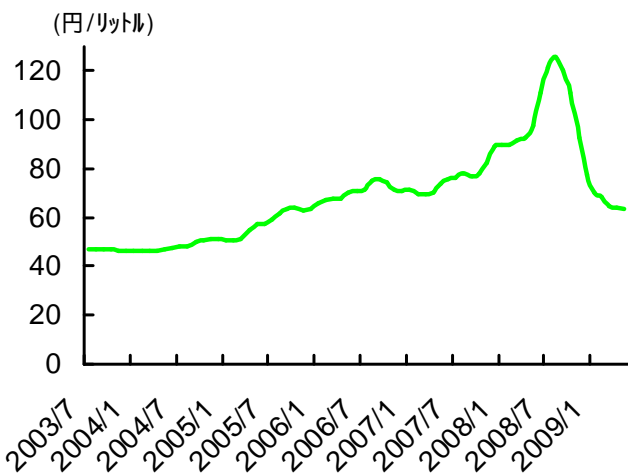
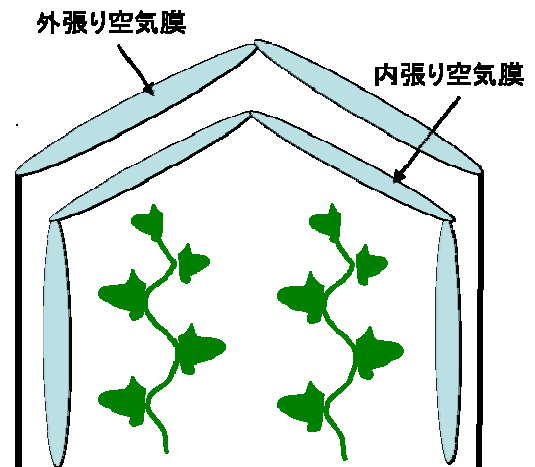


空気膜ハウスで冬春キュウリの省エネ栽培ができます

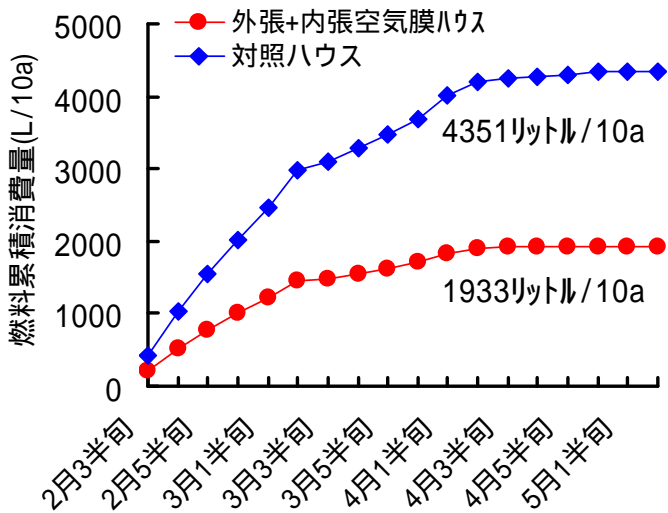
近年の原油価格の乱高下は、野菜や花き等を生産する施設園芸農家の経営を著しく圧迫しています。そこで、当センターでは、「収量・品質は現状を維持したまま、暖房用化石燃料の使用を30%以上削減する」ことを目標に、「空気膜」という空気が持つ高い断熱性を利用した被覆資材の省エネ効果や利用方法について、冬春キュウリを対象に研究を行いました。
(平成18~20年度新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業)



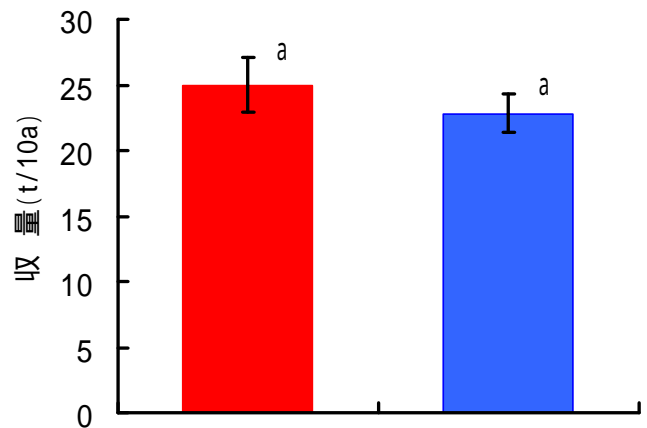
A 重油価格の推移



空気膜ハウスの構造



暖房用燃料の累積消費量(外張りと内張り併用)



半促成キュウリにおける収量性の比較 (外張りと内張り併用の場合)

(研究成果)

- ・空気膜とは、二重になったフィルムの間に空気を送り膨らませた被覆資材です。
- ・空気膜で被覆したハウスの暖房用燃料削減率は、ハウスの外張り単独で用いた場合は36%、内張り単独の場合28%、外張りと内張りに併用した場合56%でした。
- ・空気膜ハウスでは、従来ハウスと同等の品質、収量のキュウリが生産できます。
- ・外張と内張に空気膜を併用した空気膜ハウスは、重油価格が90円/ℓの場合、冬春キュウリを栽培すると214千円/10aの所得向上効果があります。